

業務関連トピックス①

大阪教育大学附属平野小学校での特別授業 『みんなで考えよう我が国の財政と暮らし～国の家計簿～』

近畿財務局総務部財務広報相談室

近畿財務局では、平成 27 年 6 月 11 日（木）、大阪教育大学附属平野小学校の 6 年生を対象に国の財政について特別授業を開催した。

この授業は、全附連（※）の PTA 連合会近畿地区役員から、知遇のあった山岸総務部長に対し、「日本の将来を考えるなら、日本の財政について小中学生のうちからきちんと理解させたほうがよいのでは。」との提案を受け、まずは、同氏が PTA 役員を務める大阪教育大学附属平野小学校の 6 年生 120 名を対象に特別授業を行った。

当日は、小学生を対象とした財政の授業に関心を持った全附連の関係者や報道関係者も見学に参加し、今回の試みを視察した。

※ 国立大学附属学校教員で組織する「全国国立大学附属学校連盟」と 附属学校 PTA で組織する「全国国立大学附属学校 PTA 連合会」の総称。

【1 限目】

- 財務省・財務局の仕事や役割紹介
- 財政の役割と現状についての説明

財務省ホームページの財政に関する映像資料「大臣になった男」の“オープニング”と“国民生活と財政”を上映。

財政の現状については、当局作成資料を使用して説明を行い、最後に「大臣になった男」の“エンディング”を上映して休憩。



熱心に説明を聞く生徒達

【2 限目】

財務省ホームページの「予算クイズ」・「財務大臣になって財政改革を進めよう」を活用して、生徒参加型の授業を実施。

- 予算クイズ

“初級編”（11 問）をスクリーンに投影し、各問「YES」「NO」で回答してもらったところ、徐々に生徒達の関心も高くなり、様々なところから「YES」「NO」の声が湧き上がった。



様々なところから意見がでます

○財務大臣になって財政改革を進めよう

普段授業で使用しているタブレットをお借りし、3～4 人のグループ毎にタブレットを 1 台ずつ配り、2020 年度までに基礎的財政収支の黒字化を目指すためにはどうすればよいかを各グループで話し合いながら、シミュレーションを行った。

1 回目は、すべてのグループが目標を達成できなかったが、2 回目は、税率を 30% 引き上げて目標を達成したグループ（複数）を皮切りに、社会保障費を大きく削減して目標を達成したグループ、各項目を少しずつ削減して税率引き上げを最小限に止めようとするグループなど、夢中になって取り組んでいた。



生徒へ丁寧に教える山岸先生（総務部長）



タブレットを操作して夢中で取り組む生徒達

生徒達は、熱心に興味を持って説明を聞いており、「最初は財政って分からなかったけれど、だんだん分かってきた。」「借金が多いから、もっと防衛費や公共事業費を削らなアカンよね。」といった感想や、「財務省で働くにはどうしたらいいの?」という質問もあった。

また、見学者からは、「説明の順番が分かり易く、とてもよかった。」「全国の附属小・中学校でも特別授業の実施を希望する学校があれば、各財務局等をお願いしたい。」「こんないいゲームが財務省のホームページにあるということをもっとPRすべき。」との感想や意見もいただいた。

国の財政状況や財政健全化といったテーマは、小学生には難し過ぎるのではないかと危惧されたが、ゲーム方式を取り入れたこともあって、生徒達は非常に興味深く授業に集中していた。また、PTA や教職員の関心も高く、今回の特別授業をきっかけとして全附連との連携をさらに強める端緒となった。今後とも、小学生や中学生にも国の財政に強く関心を持ってもらえるよう、説明をさらに分かり易く工夫し、将来の国を担う世代への広報活動を積極的に進めていきたい。